

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	観光地における電気自動車による公共交通のグリーン化促進事業		<b>担当部局</b>	自動車局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度		<b>担当課室</b>	環境政策課		課長 江角 直樹		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	2(5)快適な道路環境等を創造する				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)			<b>関係する計画、通知等</b>	「円高・デフレ対応のための緊急経済対策」(平成22年10月8日閣議決定)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	観光地等における電動バス・電気タクシーを活用した意欲的な事業展開等を目指す運送事業者等に対して、電気自動車・充電設備の導入を図ることにより国内観光地等における公共交通のグリーン化及び観光振興等を促進する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	地域観光振興等に資する意欲的な事業展開等に関する優れた計画を策定した運送事業者等が行う電気バス・タクシー又は電気バス用充電設備の導入費用を支援する。 補助率 車両導入 1/2, 1/3 充電施設 1/2							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	450	-	-	
		繰越し等	-	-	-	450	-	
		計	-	-	450	450	-	
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)
	クリーンエネルギー自動車の普及台数		成果実績	万台	-	-	-	69
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	補助台数		活動実績 (当初見込み)	件	( )	( )	( )	( 59 )
			算出根拠					
<b>単位当たりコスト</b>	実績なし(事業で必要となる電気バス・電気タクシーについて、開発の遅れ、受給の逼迫等が発生し、入手が困難となったことから、23年度へ全額明許繰越したため)							
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	低公害車普及促進対策費補助金	-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	[評価できない] 本事業で必要となる電気バス・電気タクシーについて、開発の遅れ、受給の逼迫等が発生し、入手が困難となったことから、23年度へ全額明許繰越しを行い、引き続き事業の遂行中であることから、本評価欄は記載していない。 なお、23年度においても、効果的・効率的な補助金の執行を行う。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	[評価できない] 本事業で必要となる電気バス・電気タクシーについて、開発の遅れ、受給の逼迫等が発生し、入手が困難となったことから、23年度へ全額明許繰越しを行い、引き続き事業の遂行中であることから、本評価欄は記載していない。 なお、23年度においても、効果的・効率的な補助金の執行を行う。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、国内観光地等における公共交通のグリーン化及び観光振興等を促進するため、電気自動車・充電設備の導入を図るところ、車両開発の遅れ、受給の逼迫等が発生し、入手が困難となったことから、23年度へ全額明許繰越しを行ったものである。23年度においても引き続き、限られた予算の中で効果的・効率的な補助金の執行を行う予定。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業目的を達成できるよう、効率のかつ効果的な事業の遂行を進めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。費  
 目と使途の双方で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		-			
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					